

T0:

ソウル大学 工学部 コンピューター工学 学部長 パク・グンス教授

担当教授：オム・ヒョンサン教授、バーナード・エガー教授

### **新日鉄住金ソリューションズ プロジェクト 提案書**

1. **企業名**：新日鉄住金ソリューションズ株式会社

2. **企業所在地**：本社) 東京都中央区新川二丁目 20-15

R&D 研究所) 神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目 3-1

3. **企業概要**：

가. 代表：謝敷 宗敬 (しゃしき むねたか)

나. 設立年度：1980 年 10 月 1 日

다. 従業員数：5,644 名 (連結)、2,817 名 (単独)

라. 主力商品・サービス：

- 経営及びシステムに関するコンサルテーション
- 情報システムに関する企画・設計・開発・構築・運用・保守及び管理
- 情報システムに関するソフトウェア及びハードウェアの開発・製造並びに販売及び賃貸
- IT を用いたアウトソーシングサービスその他各種サービス

마. ホームページ：<http://www.nssol.nssmc.com/index.html>

4. **プロジェクトタイトル**：プレゼンテーションのためのアシスタントシステムの開発

5. **プロジェクトの内容**：

近年、音声認識・顔認識などの「認識技術」や、3D アニメーション・音声合成などの「表現/フィードバック技術」の進歩により、音声や身振り手振りを入出力として扱う対話型システムが実用化されつつある。

本プロジェクトでは、発表者が複数の聴衆にプレゼンテーションを行う状況において、「聴衆の理解度を高める」ことを目的としたアシスタントシステムを開発する。このシステムは発表者と聴衆の橋渡し役としてふるまい「発表資料の提示」「発表内容に関連する話題を Web から検索」などを通じてプレゼンテーションを支援する。

また、発展的課題として、上述の認識・表現技術を組み込むことでより高度なコンテキストを理解し、それに応じたアクションを実行できることを目指す。例えば「聴衆が理解できていない状態を検知して発表者の話を遮る」のような機能である。

開発は「技術の統合」に主眼を置き、既存の外部サービスを利用してもよい。

- 1<sup>st</sup> システムの開発：目的を達成するためにシステムが持つべき機能を設計する。  
システムアーキテクチャや、各機能の実現方法（外部サービスの利用、自ら実装する等）を調査・検討し、定めた方針に従って実装を行う。

- 2<sup>nd</sup> システムのテスト及びブラッシュアップ：上記で開発したシステムを、実利用を想定したシナリオで利用し、使い勝手を向上させるためにブラッシュアップする。
- 3<sup>rd</sup> システムの公開：成果物は GitHub (<https://github.com/>) 上にコミットし、オープンソースソフトウェアとして世界に公開する。

**6. 必要スキル及び知識：** Web アプリケーションの開発経験（Java, JavaScript などのプログラミング経験）、英語（日本語でも可）でのコミュニケーション力

**7. 教育/訓練効果：** システムインテグレーション（アーキテクチャ設計、技術の取捨選択や最適な組み合わせの検討）のスキル、ソフトウェアプロダクトの企画・開発・テストスキル、Java, JavaScript などのプログラミングスキル

**8. 開発期間：** 3 か月

**9. 開発人数：** 2~3 名

**10. 企業 担当者：** 石川 真也 (ishikawa.shinya.x4y@jp.nssol.nssmc.com: +81-80-1392-9364)